



[ei,ei]

「自然や環境」のことに触れなくなったり、  
ライフスタイルを考えたりするヒントが  
この「エイ・エイ」の中に入っていますヨ。

「環境とライフスタイルを考えるフリーマガジン」2019年3月15日発行 NPO尼崎21世紀の森 <http://www.amashin21mori.net/>



CONTENTS

- ◆あまピヨ「木の実と仲間探しの旅」vol.2
- ◆情報交流コーナー：あま・あま・ポン
  - ・「全国運河サミット in 尼崎 2018」が開催されました!
  - ・「緑も水辺も育む賞」感謝状を贈呈しました!
- ◆尼崎物語vol.4「遠い日の散歩道」
- ◆尼崎海への恩返し
  - ～ネイチャークラブの運河の命の循環の取り組み～
- ◆What's「尼崎21世紀の森づくり?」

## 「あましん」地域の環境文化の創造活動

### 第8回「あましんグリーンプレミアム」の最優秀賞や各部門賞が決定しました。

今回で8回目となる「あましんグリーンプレミアム」。平成30年6月1日から8月21日の期間で募集を行い、141先(142案件)の応募をいただきました。

第1次、第2次の書類選考を経て、11月22日に行われたプレゼンテーションによる最終選考の結果、最優秀賞には株式会社ヤノ技研様の「蓄熱がひらく省エネ温室」が選ばれました。

今回の受賞は、自然の熱を有効活用し、電気などのエネルギーを使用しない蓄熱材の普及をめざす同社の取り組みが高く評価されたものです。

最優秀賞	部門賞
株式会社ヤノ技研	澁谷油脂株式会社 自然と文化の森協会 有限会社協田



作田誠司理事長/株式会社ヤノ技研 矢野直達代表取締役



授賞式に臨まれた皆さま

12月3日、都ホテルニューアルカイクで授賞式が執り行われ、最優秀賞ならびに各部門賞の4団体の皆さまが参加されました。

基調講演では国連環境計画・金融イニシアティブ特別顧問を務められる末吉竹二郎氏をお迎えし、『Non-state Actors(非国家主体)の時代が始まった』をテーマにお話いただきました。

## 尼崎21世紀の森 あましん植樹祭

平成30年10月6日、尼崎の森中央緑地において8回目となる「あましん植樹祭」を開催しました。

8回目となる今回は、第6回定額積立定期預金「どんぐりの木」に加入され「苗木の里親」として2年間、手塩にかけて苗木を育てていただいた皆さまをはじめ、公募で集まっていた皆さま1,000名、当金庫役員1,200名を合わせた2,200名が参加しました。

オープニングセレモニーでは当金庫の橋本博之会長のあいさつに引き続き、来賓を代表し、荒木一聡 兵庫県副知事、稲村和美 尼崎市長にごあいさつをいただきました。

今年は、約1,500㎡にクヌギやコナラなど2,500本を植え、当金庫がこれまでに地域の皆さまと植樹した苗木は合計19,000本となりました。



「尼崎21世紀の森づくり」を応援しています。



### 尼崎信用金庫

AMASHIN

<http://www.amashin.co.jp>

あましん 検索



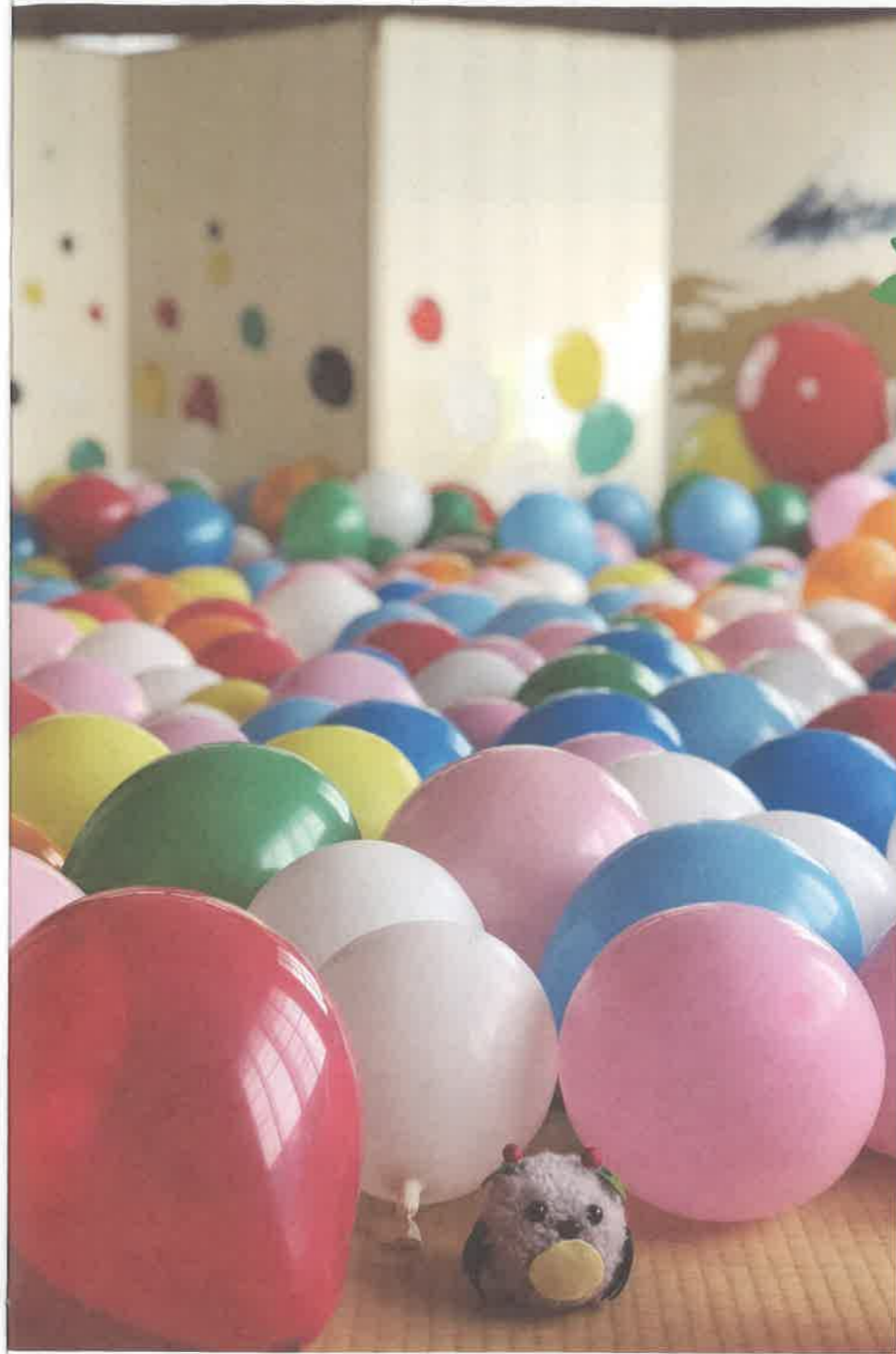


21世紀の森で生まれた「あまぴヨ」が、森を出て尼崎の森の仲間を紹介するよ!



あまぴヨ  
鳥とナンテンの妖精。  
木の實と仲間を探して  
21世紀の森を守る。  
性格:おっとりさん  
お人好し

# アートなマチ アマガサキ!?



女性のハレの日金屏風

## あまらぶアートラボ

### A-lab

旧公民館を活用して作られたA-labは、若手のアーティストの発表・創作の場として活用され、現在で4年目となります。若い人の夢やチャレンジを応援するべく、市民が芸術に触れ、体験できる機会も提供している、尼崎アート発信基地です。年に約5回の頻度でアーティストによる展覧会が開催されるほか、トークショーやワークショップなどのイベントも行われます。



熊本ものがたりの屏風 みんなの思いで腰高屏風

伝統的な「日本画」を、  
現代的な「ニッポン画」に！  
〜山本太郎展〜

今回は、今尼崎市で話題の尼崎城プロジェクト関連企画として、A-labで開催されている山本太郎展「時代とあそびたびするつくる」を見てきました。山本太郎さんは伝統的な日本画の技法で現代の景観や風俗を描く「ニッポン画」を提唱し、制作をされています。まず入り口に足を踏み入れるとそこには階段が紅白に彩られたなんと叫ばない空間が広がっていて、「おっ」と舌がでました。中を進んでいき展示を見ている途中、なんとマリオとル

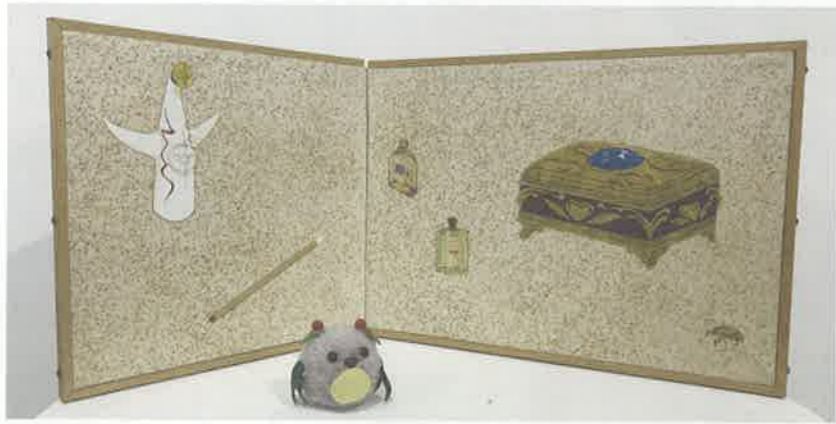
イージに出会いました。マリオとルイージは風神雷神の格好をしていて小部屋が丸々マリオブラザーズの世界になっていました。現代と歴史の融合されたアートに、芸術に興味があってもなくても魅了されます。まさに子供も大人も楽しめる作品だと思いました。さらに奥に進むと和室に風船が沢山ある部屋に行き着きました。大人になると風船に触れる機会もほとんどありません。ですがこの空間は不思議と童心へ戻してくれ、成人しているのに一生懸命遊んでいました。普段できない遊びと味わいのある不思議空間、とても居心地がよかったです。



アケオメクリ



女性のハレの日金屏風



いと小さきもの小屏風



いと小さきもの小屏風

## アートでつむぐ 尼崎のミライ

A-labの事業担当をされている尼崎市役所ティン・ロモーション事業担当の方によると、週末には1日に15名ほどの市民が訪れているそうです。中にはイベントごとに毎回訪れる小学生もいるとのこと。若者をはじめとした市民はまちの身近な空間からアートに触れ、日常とは異なった体験をすることが出来ます。そこで得られた感性は人々の心をより豊かなものにするでしょう。アートを通じたまちづくりは、尼崎市をより良くし、新たな魅力を創出するきっかけとなるかもしれません。



### vol.4 遠い日の散歩道



弥生から古墳時代へ至る、七百年もの長い時間が残っています。

その後、田能が歴史に登場するのは十五世紀。興福寺・春日社の...



(文・写真 横山知代子) 協力 辻川 敦氏(尼崎市立地域研究資料室館長)

弥生時代の遺跡を今に残す田能遺跡は、豊中との境、尼崎の端にあります。二千数百年前、猪名川河口の海に近い場所に...

田能遺跡と春日神社の間にある農業公園は、緑豊かな田園が広がるこの地域の景観を残す目的で作られました。



五月の節句に菖蒲を撰関家に奉納していたという歴史もあります。田能遺跡から猪名川を渡り、土手を歩いて...

全国運河サミット in 尼崎2018 11月16日(金)~17日(土)



「運河マモル」をテーマに「全国運河サミット in 尼崎2018」が11月16、17日開催されました。

講演のほか、「マモル」「ツナガル」2つのテーマによるディスカッションを実施。「マモル」のテーマでは、県立尼崎小田高校...



# あまあまポン

このページでは「尼崎21世紀の森づくり」の活動の様子をお知らせします。



「運河マモル」をテーマに「全国運河サミット in 尼崎2018」が11月16、17日開催されました。11月16日のシンポジウムでは、岩本唯史氏(株)水辺総研代表・ミスベリンド...

「緑も水辺も育む賞」感謝状を贈呈しました。尼崎21世紀の森構想がめざす「森と人が共生する環境創造のまちづくり」には、行政だけでなく、皆さまの協力が必要です。



- 被贈呈者(五十音順)
- 日鉄住金テクノロジー株式会社 阪神事業所 (尼崎市東向島西之町1番地)
  - 株式会社濱本ジェネラルコーポレーション 鋼管支社(尼崎市東高洲町1番地)
  - 日本鍛工株式会社 (尼崎市大浜町2丁目1番地)
  - 株式会社ハーマニックス 尼崎工場 (尼崎市南初島町15番地)
  - 株式会社阪神金属工業株式会社 尼崎事業所 (尼崎市東向島西之町1番地)
  - 古河物流株式会社 関西物流センター (尼崎市道意町7丁目6番地)



尼崎臨海部にかつての**自然環境=美しさ**を取り戻したい。  
日本の**発展を支えてきた誇り**を取り戻したい。  
かつてこの地に存在した**人間の活気**を取り戻したい。

そんな願いを込めて、平成14年3月に  
『**尼崎21世紀の森構想**』は、策定されました。それが尼崎市全体に  
美しさと誇りと活気を取り戻すきっかけになれば、という希望を持って。

**江戸時代**  
この尼崎には尼崎城という江戸幕府の直轄地であった、大坂の西の玄関口を守る重要拠点があったのをご存知ですか？

**明治の初め**  
この瀬戸内海が「世界で最も魅力的な景観」と絶賛されていたのをご存知ですか？

**明治から昭和**  
この尼崎臨海地域が関西の重化学工業の中心集積地として、わが国の産業や経済の高度成長を支える役割を担っていた事をご存知ですか？

**昭和40年代**  
この尼崎市が国道43号・阪神高速神戸線とともに公害問題が深刻化し、「公害のまち」という不名誉な称号を与えられた事をご存知ですか？

**近年**  
巨大工場が建設され一時的に臨海部での産業の活性化に期待が高まるも、世界経済の波の中で再び冷えている事をご存知ですか？

**これから『尼崎21世紀の森構想』**  
かつての**自然環境=美しさ**  
日本の**発展を支えてきた誇り**  
**人間の活気**  
を取り戻したい。

一緒に尼崎21世紀の森づくりをしませんか！  
編集スタッフを募集しています！

「環境とライフスタイル」を考えるフリーマガジン

エイ・エイ：2019年16号(3月15日発行)  
NPO尼崎21世紀の森 Aa 編集部  
ホームページ <http://ama21mori.net/>  
〒660-0815 尼崎市杭瀬北新町3-2-2 大信ビル3F  
TEL 090-8233-4079

Chief Editor 岸本 幸三

Editor/Writers 池田 和也 幸野 里砂 森上 恒  
泉原 久人 菅 真澄 藤原 悟  
石井 康之 中岡 慎雄 山本 仁湖  
薄井 洋一 守 宏美 横山知代子  
太田 洋平 森井 敬介

Designers 児玉 泰江 鳥山 大樹 ヒロコ・TG  
杉本さやか 田万まどか

Print ウニスガ印刷(株)

環境改善を利用した先進的な「まちづくり」それが『この尼崎21世紀の森構想』の本質です。  
ナカナカ素敵な計画だと思いませんか？  
100年間のこの計画、進めて行けるのは、  
この尼崎が大好きな一人ひとりの市民、企業の皆さんなのです。

**編集後記**

中学生から尼崎での環境活動を始めて、約7年が経ちました。始めは興味本位で先生や周囲の方々に教えられ活動をしてきましたが、先日開催された『全国運河サミット』に参加した時には、「立派になったね」「大人になったね」とたくさんの方が声をかけてくれました。いつからこの環境活動が私のライフワークとなり、故郷という言葉がふさわしいような、戻ってきたい場所となっていました。ここで出会った人とのつながりは、私を大きく成長させてくれます。私の「愛するまち」が他の人からも「愛されるまち」であってほしい。「愛されるまちづくり」を学ぶため、少し故郷をはなれ、私はイタリアへ留学します！そしてさらに成長して尼崎に帰ってきます！乞うご期待！

(山本仁湖)



**尼崎の海への恩返し**  
~ネイチャークラブの運河の命の循環の取り組み~

ネイチャークラブは、自分たちの生きる地域の環境をよりよくしていくことを目的に平成19年に結成されました。結成当初、成長中学校の生徒が中心となって始めた巣箱づくりや観察活動は、自然環境や野生生物保護の心を育みながら、尼崎21世紀の森づくり、尼崎の川、海、運河の水質浄化活動へと広がっています。そしてこれらの活動を「命あるものが共生しあえるまちづくり」へと発展させようとしています。

**尼海の会**

尼崎の海は、かつて干潟や砂州が広がり多くの生物が命を育む場所でした。しかし昭和10年代から工業用地の建設が進められ自然豊かな環境は姿を消し、阪神工業地帯の拠点となった尼崎の海

は埋め立てによって「閉鎖的な海」になりました。そして尼崎港では水中の酸素不足や、人間の生活の影響で窒素やリンといった栄養塩が海水に大量に溶け込み海の環境を悪化させてきました。このような問題を解決するために兵庫県尼崎港管理事務所 大阪湾広域臨海環境整備センター、徳島大学や多くの専門家、団体等によって「尼海の会」が結成され、ネイチャークラブも水質浄化や海辺の環境改善に取り組んできました。

**海の栄養を取り上げる取り組み**

尼海の会では、海に溶け込む窒素やリンを吸収させ水質を良くするためにワカメを栽培しています。またワカメが大きく成長することで水中生物の棲み処にもなっており、尼崎の海の生物多様化にも繋がっています。

この他にも尼崎港の防潮堤で繁殖するムラサキイガイが、水中の酸素が少なくなる夏場に死んで、海底に沈んでヘドロになってしまいう前に回収し、海



の環境悪化を未然に防ぐ活動をしていきます。そして海から取り上げたワカメやムラサキイガイは落ち葉や枯草と混ぜ合わせて堆肥にします。出来上がった堆肥の成分を専門家に調べてもらったところ安全に使用できることが確認されました。

**尼崎の海の栄養を大地に**

尼崎の海の水カメとムラサキイガイから作った堆肥は「尼海堆肥(あまうみだいひ)」と名付けました。そして尼崎港に面した「のびのび公園」で菜の花を栽培しています。雑草を刈り取り、耕耘し10月に種をまいてから手入れを続けていくと4月にはきれいな花を咲かせ、蝶やミツバチなど様々な昆虫が命を育み、公園を訪れる人々に喜んでもらえる場所になることができます。この他、尼崎市立成長中学校でもネイチャークラブの中学生が尼海堆肥を使ってこれまで50種類以上の野菜や果物を育てることができました。



のびのび公園の菜の花が実らせた菜種から搾った油は、尼海堆肥で育てた野菜の調理に利用し、美味しくいただいた後消化され、最終的には下水処理施設を通じて栄養となって尼崎の海へと戻っていきます。

また調理に使った後の油はバイオディーゼル燃料に精製し、車や発電機の燃料として活用することができました。

このような一連の活動を通して、「形は変わりつつも命はつながり続ける循環」の意味を知ることができました。そして尼崎の海を「私たちの海」とあるという意識も高まり、NPO法人あまがさきエコクラブや一般財団法人尼信地域振興財団など、より多くの方々から支援や協力をいただきながら活動することができるようになりました。

これからも「尼海の会」の取り組みを充実させて、真の持続可能な社会づくりに発展させていきたいと考えています。

**ナカオカ サダオ**  
中岡 精雄

- ネイチャークラブ体験教室研究所 代表
- 徳島大学 理工学部 非常勤講師
- 芦屋大学 教育学部 非常勤講師